

時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

こがくねんむ 2023年 ねん あまごう
高学年向け 2023年 秋号



「さくらいろのりゅう」

町田 尚子/作 (アリス館)

「やくにたたないこいしのようだ」といわれ
みんなにコイシと呼ばれている、ひとりぼっち
の娘がいました。

ある日、コイシは山のおくのみずうみに住む
りゅうと出会い、友達になります。

コイシがくれた、さくらいろのかいのかわり
に、自分のうろこをとってさしだしたりゅう。
珍しいりゅうのうろこに村人たちが目を付け
て…。人間の欲深さについて考えさせられる
さくひん
作品。

うちどく 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本
について話す。これが「うちどく(家読)」
です。

むずか
難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみま
しょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさん
やおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい



「未来の給食、なに食べる？」

おはなしサイエンス 未来のたべもの」

楠木 誠一郎/作 下平 けーすけ/絵 (講談社)

ある日、理科部の先生に呼び出されたぼくら。
5年生の部員だけで、食べ物が足りなくなる未来
のために、「新しい食材をつかった給食」を
考えることになった。でも、実際に使われてい
る宇宙食やサプリメントという答えはだめらし
い…。

5年生の3人が、それぞれ提案したものとは？
科学の力で、未来の食料危機に立ち向かうこ
とができるのかな？



「ハロウィーンの魔法」

ルーマ・ゴッデン/作 渡辺 南都子/訳

堀川 理万子/絵 (偕成社)

セリーナとマフェットは姉妹。優等生のマフェ
ットとくらべ、セリーナは何をやってもへまばかり。
姉妹の夢は、ポニーを手に入れること。運よく手
に入れたポニーのハギスはずんぐりむっくりで、セ
リーナのいうことをちっともききません。

ある日、村で評判のがんこ者マックじいさんの
農場にハギスが入り込んでしまい…。

スコットランドの田舎を背景にした、心温まる
物語です。



「こんぴら狗」

今井 恭子/作 いぬんこ/画 (くもん出版)

江戸時代、金毘羅参りは庶民の憧れ。でも
自分はなかなか旅には出られないので、代わ
りに飼っている犬をお参りに行かせる、とい
うユニークな風習がありました。

捨て犬だったムツキを捨ててくれた弥生の
治癒祈願のため、ムツキは「こんぴら狗」と
して、江戸から金毘羅参りに向かうことにな
ります。ムツキの旅は、波乱万丈。皆も一緒
にムツキと金毘羅参りの旅に出よう！



「つくろう!食べよう!勝負ごはん」

夢をかなえるスポーツ応援レシピ 1」

新生 暁子/監修 (日本図書センター)

スポーツをしているそのキミ!練習だけ
が、強くなる近道じゃないのは知っているか
な?

体操の内村選手など、アスリートたちはバ
ランスのいい食事をとることに気がつかつ
ているよ。この本にのっているレシピで栄養
たっぷりの食事を作って、スポーツの秋を楽
しもう!



「水平線のかなたに 真珠湾とヒロシマ」

ロイス・ローリー/著 田中 奈津子/訳

ケナード・パーク/画

(講談社)

同じ1937年に生まれたアメリカ人の
少女と日本人の少年。12歳の時、たった
一度だけフェンス越しに目が合いました。そ
れから45年後。戦争と平和の時代を経て、
ふたりは再び出会います。本当にあった
不思議なお話。